

熱中症危険度マップによるリスクの「見える化」

工場内のWBGT値を可視化し、エリア別の作業標準を明確にすることで、熱中症を未然に防止する取り組み

作業エリア別対応基準

作業エリア別に対応基準を定め、管理し熱中症を未然防止

作業エリア	作業内容	発症危険度	予防方法
①	プレス2号機・プレス3号機 監視及び検査 プレス2号機・プレス3号機 給品・排品	レベル4	・焼入れ炉入り口、プレス装置周辺での作業は連続10分を超えてはならない ・1回/20分の水分・塩分補給 ・1回/30分の休憩
②	連続炉9号 監視及び検査 連続炉9号 給品・排品	レベル3	・焼入れ炉入り口での作業は連続10分を超えてはならない ・1回/30分の水分・塩分補給 ・1回/30分の休憩
③	バッチ炉7～12号 監視及び検査	レベル3	・焼入れ炉入り口での作業は連続10分を超えてはならない

上記対応基準に従い、各工程で「熱中症危険度マップ」作成

工場 熱中症危険度マップ

